

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—427—

2022.1.5

—会員の皆様へ—

ジュエリー文化史研究会の今後について

露木 宏

新年あけまして、おめでとうございます。

私の方は年齢の割には体調もまあまあですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新年早々ですが、ご相談です。

ジュエリー文化史の活動は新型コロナ以降、実質的に休止していますが、

今後どうしていくのか昨年から検討しています。

当初の予定は民族装身具を除けばほぼ終わってますので、

ここで区切りをつけて一旦休会にすることも考えております。

皆様どうお考えでしょうか？

続ける場合は、学習・研究する内容や会の運営方法含め、

再検討が必要かと思います。

何か提案がありましたらご一報くださると助かります。

よろしく申し上げます。

※現在連載中の『近代日本の宝飾文化史』は今週末 UP の「男の装身具」と
2月の「参考文献一覧」で終了します。

これまで感想等をお寄せいただいた方にお礼申し上げます。

「製造業者」については、大正初期から戦時体制期までまたがって書いて
おりますが、まとまったら発表させていただく予定です。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>